

平成29年度 財政状況資料集

総括表(市町村)

都道府県名	神奈川県		市町村類型	政令指定都市	指定団体等の指定状況		区分		平成29年度(千円)	平成28年度(千円)	区分	平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%)				
					財政健全化等	×	歳入総額	292,558,612						257,348,347	実質収支比率	4.7	4.5
市町村名	相模原市		地方交付税種地	1-7	財源超過	×	歳出総額	283,547,810	250,133,191	経常収支比率	98.4	102.5					
					首都		歳入歳出差引	9,010,802	7,215,156	(1)	(110.0)	(110.7)					
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	1,171,636	882,843	標準財政規模	168,376,452	141,603,637					
人口	27年国調(人)	720,779	産業構造 (5)		中部	×	実質収支	7,839,166	6,332,313	財政力指数	0.92	0.93					
	22年国調(人)	717,515			過疎	×	単年度収支	1,506,853	-845,718	公債費負担比率	13.0	14.4					
	増減率 (%)	0.5			山振		積立金	4,935	7,977	健全化判断比率							
住民基本台帳人口 (7)	30.01.01(人)	718,192	区分	27年国調	22年国調	低開発	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-				
	うち日本人(人)	704,643		1,995	1,892	指数表選定		積立金取崩し額	4,700,000	8,200,000	連結実質赤字比率	-	-				
	29.01.01(人)	716,981	第1次	0.7	0.6			実質単年度収支	-3,188,212	-9,037,741	実質公債費比率	2.9	2.9				
	うち日本人(人)	704,467		74,224	79,375			基準財政収入額	110,222,260	95,034,981	資金不足比率 (4)						
	増減率 (%)	0.2	第2次	24.4	25.4			基準財政需要額	123,060,005	103,549,408							
	うち日本人 (%)	0.0		227,592	230,798			標準税収入額等	137,490,359	122,116,548							
面積 (km ²)	328.91		第3次	74.9	74.0			経常経費充当一般財源等	169,644,979	147,517,555							
人口密度 (人/km ²)	2,191							歳入一般財源等	192,078,117	168,549,457							
世帯数 (世帯)	311,188																
職員の状況 (8)																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等 (6)	区分	職員数 (人)	給料月額 (百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	264,169,044	259,875,224						
	市区町村長	1	11,420		一般職員	4,522	13,954,892	3,086	うち公的資金	92,619,751	100,249,781						
	副市区町村長	3	9,350		うち消防職員	725	2,310,575	3,187	債務負担行為額 (支出予定額)	50,467,933	70,856,552						
	教育長	1	8,040		うち技能労務職員	391	1,250,809	3,199	収益事業収入	1,038,985	1,180,831						
	議会議長	1	7,790		教育公務員	2,876	9,808,500	3,410	土地開発基金現在高	2,000,000	2,000,000						
	議会副議長	1	7,130		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	6,237,738	6,932,803						
	議会議員	44	6,700		合計	7,398	23,763,392	3,212	積立金現在高	293,244	156,325						
						ラスバイレス指数			99.9	減債基金							
										その他特定目的基金	6,240,958	5,213,677					
	一般会計等の一覧																
項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法通)の一覧		項番	会計名	公営企業(法非通)の一覧		項番	組合等名	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	団体名	(3)
(1)	一般会計	(6)	国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	(11)	下水道事業会計	(12)	簡易水道事業特別会計	(13)	相模原市土地開発公社								
(2)	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	(7)	国民健康保険事業特別会計(直営診療勘定)					(14)	相模原市まち・みどり公社								
(3)	公債管理特別会計	(8)	自動車駐車場事業特別会計					(15)	相模原市社会福祉協議会								
(4)	公共用地先行取得事業特別会計	(9)	介護保険事業特別会計					(16)	相模原市民文化財団								
(5)	麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業特別会計	(10)	後期高齢者医療事業特別会計					(17)	相模原市体育協会								
								(18)	相模原市勤労者福祉サービスセンター								
								(19)	相模原市産業振興財団								
								(20)	相模原市シルバー人材センター								
								(21)	相模原市防災協会								
								(22)	さがみはら産業創造センター								

(注釈) 1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に 印を付与している。
4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
7: 人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
8: 職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位 千円・%)					地方税の状況(単位 千円・%)					歳出の状況(単位 千円・%)						
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等			
地方税	114,349,520	39.1	105,296,189	68.3	普通税	102,105,109	89.3	539,397	議会費	935,640	0.3	-	935,451			
地方譲与税	1,700,626	0.6	1,700,626	1.1	法定普通税	102,105,109	89.3	539,397	総務費	22,459,092	7.9	68,710	20,311,769			
利子割交付金	135,125	0.0	135,125	0.1	市町村民税	51,959,033	45.4	539,397	民生費	116,815,729	41.2	565,077	57,758,030			
配当割交付金	635,866	0.2	635,866	0.4	個人均等割	1,266,016	1.1	-	衛生費	20,910,030	7.4	610,117	16,685,981			
株式等譲渡所得割交付金	685,490	0.2	685,490	0.4	所得割	43,892,746	38.4	-	労働費	688,320	0.2	-	246,967			
分離課税所得割交付金	118,395	0.0	118,395	0.1	法人均等割	1,789,971	1.6	-	農林水産業費	851,558	0.3	223,249	569,090			
道府県民税所得割臨時交付金	14,026,455	4.8	14,026,455	9.1	法人税割	5,010,300	4.4	539,397	商工費	13,758,226	4.9	387,175	2,338,027			
地方消費税交付金	11,601,691	4.0	11,601,691	7.5	固定資産税	44,882,127	39.2	-	土木費	25,958,874	9.2	11,514,643	16,042,054			
ゴルフ場利用税交付金	169,751	0.1	169,751	0.1	うち純固定資産税	43,838,070	38.3	-	消防費	7,883,892	2.8	855,310	7,322,798			
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	936,073	0.8	-	教育費	47,679,662	16.8	5,043,993	35,761,684			
自動車取得税交付金	1,016,125	0.3	1,016,125	0.7	市町村たばこ税	4,327,876	3.8	-	災害復旧費	149,873	0.1	-	149,873			
軽油引取税交付金	3,107,304	1.1	3,107,304	2.0	鉱産税	-	-	-	公債費	25,456,914	9.0	-	25,101,357			
地方特例交付金	776,318	0.3	776,318	0.5	特別土地保有税	-	-	-	諸支出金	-	-	-	-			
地方交付税	13,579,919	4.6	12,658,195	8.2	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-			
普通交付税	12,658,195	4.3	12,658,195	8.2	目的税	12,244,411	10.7	-	歳出合計	283,547,810	100.0	19,268,274	183,223,081			
特別交付税	921,474	0.3	-	-	法定目的税	12,244,411	10.7	-	性質別歳出の状況(単位 千円・%)							
震災復興特別交付税	250	0.0	-	-	入湯税	-	-	-	区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率		
(一般財源計)	161,902,585	55.3	151,927,530	98.5	事業所税	3,191,080	2.8	-	義務的経費計	175,201,094	61.8	114,751,097	114,734,073	66.5		
交通安全対策特別交付金	216,212	0.1	216,212	0.1	都市計画税	9,053,331	7.9	-	人件費	69,745,522	24.6	60,775,552	60,758,528	35.2		
分担金・負担金	2,533,237	0.9	-	-	水利地益税等	-	-	-	うち職員給	50,268,131	17.7	42,825,072	-	-		
使用料	3,561,357	1.2	690,193	0.4	法定外目的税	-	-	-	扶助費	80,044,076	28.2	28,919,606	28,919,606	16.8		
手数料	1,902,391	0.7	-	-	旧法による税	-	-	-	公債費	25,411,496	9.0	25,055,939	25,055,939	14.5		
国庫支出金	54,091,357	18.5	-	-	合計	114,349,520	100.0	539,397	元利償還金	25,411,496	9.0	25,055,939	25,055,939	14.5		
国有提供交付金(特別区財調交付金)	1,312,740	0.4	1,312,740	0.9	区分	平成29年度	平成28年度		内 元金	23,192,480	8.2	22,889,275	22,889,275	13.3		
都道府県支出金	14,178,400	4.8	-	-	合計	99.0	97.0	98.9	96.5	うち利子	2,219,016	0.8	2,166,664	2,166,664	1.3	
財産収入	312,665	0.1	74,463	0.0	徴収率 現・計	市町村民税	98.6	95.5	98.5	94.7	一時借入金利子	-	-	-	-	
寄附金	233,477	0.1	-	-	(%)	純固定資産税	99.4	98.0	99.3	97.8	その他の経費	88,928,569	31.4	63,190,933	54,910,906	31.8
繰入金	5,144,057	1.8	-	-	公営事業等への繰出					国民健康保険事業会計の状況						
繰越金	3,215,156	1.1	-	-	合計	26,025,813	22.8	22.8	3,547,159	物件費	34,959,458	12.3	27,775,837	27,433,234	15.9	
諸収入	16,468,678	5.6	53	0.0	下水道	4,750,000	4.1	4.1	1,003,927	維持補修費	3,383,334	1.2	3,130,955	3,125,476	1.8	
地方債	27,486,300	9.4	-	-	駐車場整備	801,297	0.7	0.7	107,968	補助費等	15,817,281	5.6	12,881,662	11,356,985	6.6	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	簡易水道	69,000	0.1	0.1	169,023	うち一部事務組合負担金	31,494	0.0	31,494	31,494	0.0	
うち臨時財政対策債	18,227,700	6.2	-	-	上水道	-	-	-	繰出金	21,275,813	7.5	18,096,259	12,896,791	7.5		
歳入合計	292,558,612	100.0	154,221,191	100.0	国民健康保険	7,958,000	6.8	6.8	95	積立金	1,563,250	0.6	1,202,800	-	-	
					その他	12,447,516	10.8	10.8	290	投資・出資金・貸付金	11,929,433	4.2	103,420	98,420	0.1	
									前年度繰上充用金	-	-	-	-	-		
									投資的経費計	19,418,147	6.8	5,281,051	-	-		
									うち人件費	636,099	0.2	629,312	-	-		
									普通建設事業費	19,268,274	6.8	5,131,178	-	-		
									うち補助	7,526,568	2.7	513,066	-	-		
									うち単独	10,690,321	3.8	3,920,602	-	-		
									災害復旧事業費	149,873	0.1	149,873	-	-		
									失業対策事業費	-	-	-	-	-		
									歳出合計	283,547,810	100.0	183,223,081	-	-		

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成29年度 神奈川県相模原市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	289,959	281,325	8,634	8,028		268,585	
2 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	366	152	214	-		1,107	
3 公債管理特別会計	41,543	41,543	-	-		-	
4 公共用地先行取得事業特別会計	1,247	1,247	-	-		5,248	
5 麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業特別会計	1,963	1,731	232	1		857	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成29年度

神奈川県相模原市

人口	718,192	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	704,643	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	328.91	km ²	実質公債費比率	2.9	%
歳入総額	292,568,612	千円	将来負担比率	39.0	%
歳出総額	289,547,810	千円	市町村類型	H25 政令市 H26 政令市 H27 政令市	
実収支	7,839,196	千円	(年度毎)	H28 政令市 H29 政令市	
標準財政規模	168,376,452	千円			
地方債現在高	264,169,044	千円			



市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく(実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない)団体については、グラフを表記しない。
 充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 「定員管理の状況、及び給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。
 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力

類似団体内順位 7/20 全国平均 0.51 神奈川県平均 0.91

財政力指数の分析欄

財政力指数については、社会福祉費や高齢者保健福祉費等の増加により基準財政需要額が増加したものの、納税義務者数の増加等による個人市民税の増や、新築家屋の増加等による固定資産税の増等により基準財政収入額も増加したため、結果として0.92となり、前年度と比べ0.01ポイントの低下となった。
 過去5年間の推移を見ると、本市の財政力指数は類似団体平均を上回っているが、低下の傾向(平成25年度から29年度の間で0.03ポイント低下)が続いている。
 こうしたことから、引き続き、税源涵養の取組を行うとともに、「第2次さがみはら都市経営指針(実行計画(計画期間:平成29年度～31年度))」に基づく(事務事業の精査・見直しや市税等の収納対策強化など)により、財政基盤の強化に努める。

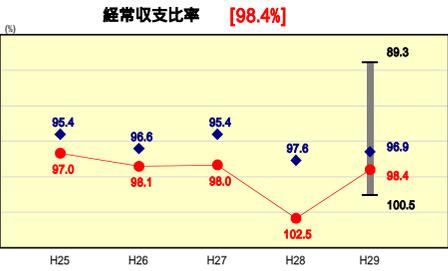


財政構造の弾力性

類似団体内順位 14/20 全国平均 92.6 神奈川県平均 97.2

経常収支比率の分析欄

経常収支比率については、保育所等への施設型給付費や障害児者介護給付費等の増加等により扶助費が増加したことなどから、経常経費充当一般財源が前年度に比べると15.0%増加となった。
 一方、経常一般財源等においては、算定方式の変更により普通交付税等が増加したほか、株式等譲渡所得割交付金や地方消費税交付金などが増加したことなどから、前年度と比べると19.8%増加となった。
 こうしたことから、前年度と比べると4.1ポイント低下したものの、依然として類似団体平均を上回っていることから、市民生活等への影響を十分配慮しつつ、市単独事業の扶助費などの経常経費の見直しを行うとともに、収納対策の強化による市税収入等の確保に取り組みほか、元利償還金に対する地方交付税措置を考慮した市債の発行を行うなど、財政の硬直化改善に努める。



人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 4/20 全国平均 131,654 神奈川県平均 128,329

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費の決算額については、他の類似団体と同様に県費負担教職員の給与負担等の権限移譲等により、前年度と比べると63.2%増となっており、物件費については基幹システム最適化事業により1.6%増となった。
 本項目の平成25年度以降の数値については、各年度とも類似団体内平均を下回っているが、引き続き、行財政改革への取組を通じて、経費の削減に努める。

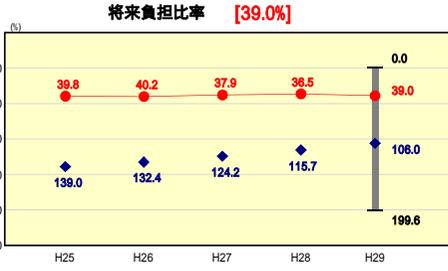


将来負担の状況

類似団体内順位 5/20 全国平均 33.7 神奈川県平均 89.3

将来負担比率の分析欄

将来負担比率については、分子となる将来負担額において、学校施設の空調設備整備事業に係る市債発行に伴う地方債現在高の増加や、県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に伴う教職員退職手当等の負担見込額の増加により、前年度と比べると2.5ポイント上昇となった。
 将来負担比率が類似団体平均を大きく下回っている主な要因としては、第2次さがみはら都市経営指針(実行計画)で定める市債の発行抑制目標等に留意し、適正な発行に努めていることがあげられるが、引き続き、元利償還金に対する地方交付税措置の有無等に十分に考慮するなど、持続可能な財政運営に努める。

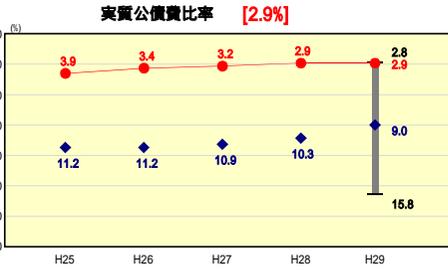


公債費負担の状況

類似団体内順位 2/20 全国平均 6.4 神奈川県平均 8.1

実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率については、公債費が増加したものの、県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に伴う標準財政規模の増加により、前年度と同率の2.9%となった。
 実質公債費比率が類似団体平均を大きく下回っている主な要因としては、第2次さがみはら都市経営指針(実行計画)で定める市債の発行抑制目標等に留意し、適正な発行に努めていることがあげられるが、引き続き、元利償還金に対する地方交付税措置の有無等に十分に考慮するなど、持続可能な財政運営に努める。

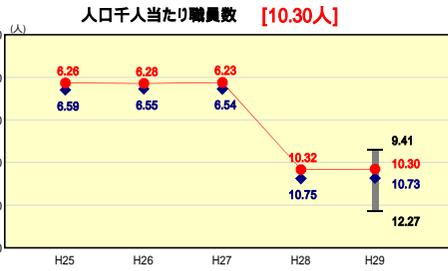


定員管理の状況

類似団体内順位 5/20 全国平均 7.91 神奈川県平均 8.76

人口千人当たり職員数の分析欄

平成28年度に策定した職員定数管理計画(計画期間:平成29年度～31年度)においては、平成29年度当初の職員定数を3年間維持することとしており、職員数も変動していないことから、平成29年度とほぼ同数となった。
 平成25年度以降、類似団体内平均を下回っているが、引き続き、事務執行体制及び事務業の見直しや民間活力の導入を推進するとともに、必要度・重要度の高い事務事業に対しては重点的に職員を配分するなど、適切な定員管理に努める。

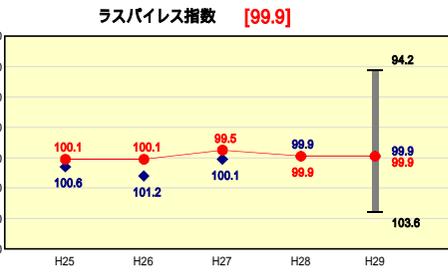


給与水準(国との比較)

類似団体内順位 9/20 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.4

ラスパイレース指数の分析欄

平成27年度に給与制度の総合の見直しを実施し、給料表の引下げ改定を行ったことにより、ラスパイレース指数は100を下回った。平成28年度についても100を下回る水準を維持しており、類似団体内平均(99.9)と同水準である。今後も引き続き、給与水準の適正化に努める。
 「ラスパイレース指数」は、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点において平成30年調査結果が未公表のため、前年度の数値を引用している。



(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

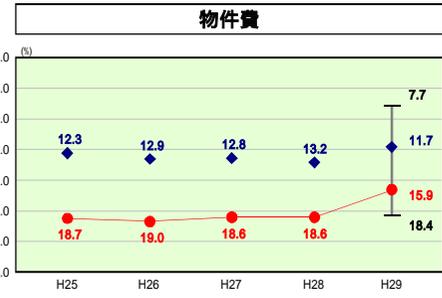
神奈川県相模原市

経常収支比率の分析

人口	718,192	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	704,643	人(H30.1.1現在)	運結実質赤字比率	-	%
面積	328.91	km ²	実質公債費比率	2.9	%
歳入総額	292,558,612	千円	将来負担比率	39.0	%
歳出総額	283,547,810	千円			
実質収支	7,839,166	千円			
標準財政規模	168,376,452	千円			
地方債現在高	264,169,044	千円			

市町村類型	H25 政令市	H26 政令市	H27 政令市
(年度毎)	H28 政令市	H29 政令市	

市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



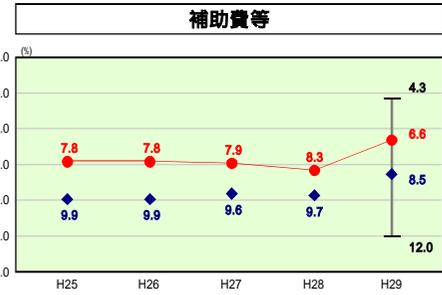
類似団体内順位 19/20 **全国平均** 14.5 **神奈川県平均** 14.5

物件費の分析
 物件費に係る経常収支比率については、前年度に比べると2.7ポイント減少の15.9%となっているが、平成25年度以降、類似団体平均を上回っている(平均4.2ポイント)。
 主な要因としては、他の類似団体に比べ最低賃金が高い傾向にあり、この最低賃金が委託事業者や非常勤職員の賃金等に反映されることなどによるものである。
 引き続き、市民生活等への影響を十分配慮しつつ、第2次さがみはら都市経営指針・実行計画に基づき、事務事業の精査・見直しを進め、安定的かつ持続的に質の高い行政サービスを提供していく。



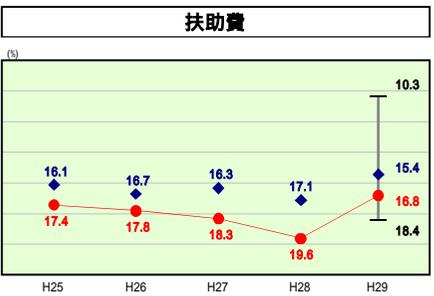
類似団体内順位 18/20 **全国平均** 25.6 **神奈川県平均** 30.7

人件費の分析
 人件費に係る経常収支比率については、前年度に比べると7.2ポイント増加の35.2%となっている。人口1人当たりの人件費や1,000人当たり職員数については、類似団体平均を下回っており、ラスバイレス指数についても類似団体内平均と同水準であるが、人件費に係る経常収支比率は類似団体平均を上回る数値で推移している。
 主な要因としては、本市の普通建設事業費が類似団体の中で最も低く、事業費支出人件費の割合も低いことがあげられる。
 今後とも、適正な職員規模及び給与水準の維持に努める。



類似団体内順位 6/20 **全国平均** 10.1 **神奈川県平均** 10.0

補助費等の分析
 補助費等に係る経常収支比率については、前年度に比べると1.7ポイント低下の6.6%となっており、平成25年度以降、類似団体平均を下回っている。
 その主な要因は、年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費や下水道事業会計繰出金の減などによるものである。
 引き続き、市民生活等への影響を十分配慮しつつ、第2次さがみはら都市経営指針・実行計画に基づき、事務事業の精査・見直しを進め、安定的かつ持続的に質の高い行政サービスを提供していく。



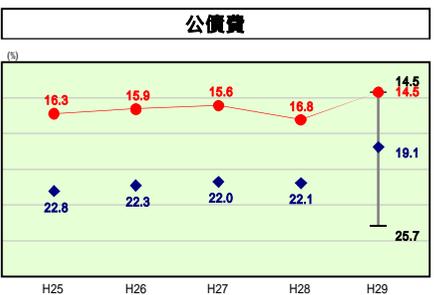
類似団体内順位 16/20 **全国平均** 12.4 **神奈川県平均** 16.1

扶助費の分析
 扶助費に係る経常収支比率については、前年度に比べると2.8ポイント減少の16.8%となっている。
 児童手当の対象者の減少や、制度改正に伴う生活保護費の減少などが扶助費の伸び率を鈍化させたことなどにより、数値は改善しているが、扶助費に係る経常収支比率は類似団体平均を上回る数値で推移している。
 その主な要因は、本市の扶助費の特徴として、市単独事業の割合が他都市に比べ高い傾向にあることで、経常収支比率における経常一般財源の扶助費充当分が高いことなどがあげられる。引き続き、第2次さがみはら都市経営指針・実行計画に基づく市単独扶助費に係る事業の見直しなどにより、数値の改善に努める。



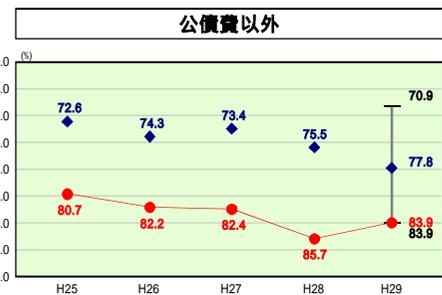
類似団体内順位 4/20 **全国平均** 13.3 **神奈川県平均** 10.4

その他の分析
 その他に係る経常収支比率については、前年度に比べると1.8ポイント低下の9.4%となっており、平成25年度以降、類似団体平均を下回っている。
 その主な要因は、後期高齢者医療広域連合負担金の増加等により繰出金が増したものの、道路橋りょうや小中学校に係る維持補修費が減少したことなどによるものである。
 引き続き、市民生活等への影響を十分配慮しつつ、特別会計の経営健全化や公共施設の適正な管理に努める。



類似団体内順位 1/20 **全国平均** 16.9 **神奈川県平均** 15.5

公債費の分析
 公債費に係る経常収支比率については、前年度に比べると2.3ポイント減少の14.5%となっており、類似団体内において最も低い数値となっている。また、平成25年度以降、類似団体平均を下回っている。
 公債費が類似団体平均を下回っている主な要因としては、第2次さがみはら都市経営指針・実行計画で定める市債の発行抑制目標等に留意し、適正な市債発行に努めていることがあげられるが、引き続き、元利償還金に対する地方交付税措置の有無等に十分に考慮するなど、持続可能な財政運営に努める。



類似団体内順位 20/20 **全国平均** 75.9 **神奈川県平均** 81.7

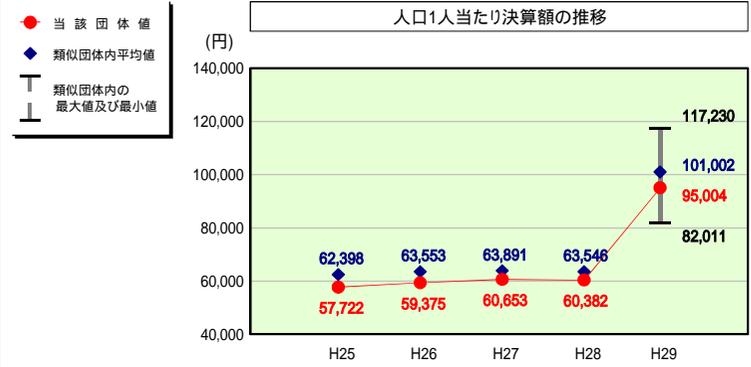
公債費以外の分析
 公債費以外に係る経常収支比率については、主な項目である人件費充当分35.2%、扶助費充当分16.8%、物件費充当分15.9%で、前年度に比べると1.8ポイント低下の83.9%となっている。
 主な項目が類似団体平均を上回っているため、全体としても、類似団体平均を上回っている。

(4) -2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

神奈川県相模原市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

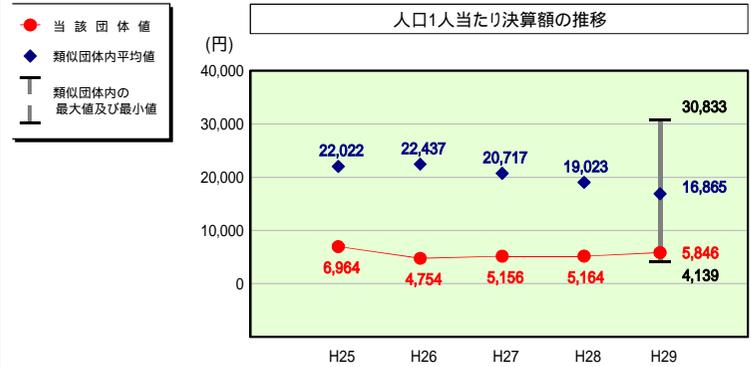
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	69,745,522	97,113	103,239	5.9
賃金(物件費)	2,743,773	3,820	1,489	156.5
一部事務組合負担金(補助費等)	131	0	133	100.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	167,457	233	1,246	81.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	903,400	1,258	1,915	34.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	636,099	886	1,191	25.6
退職金	5,965,520	8,306	8,217	1.1
合計	68,230,862	95,004	101,002	5.9

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.30	10.73	0.43
ラスパイレス指数	99.9	99.9	0.0

(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 (注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

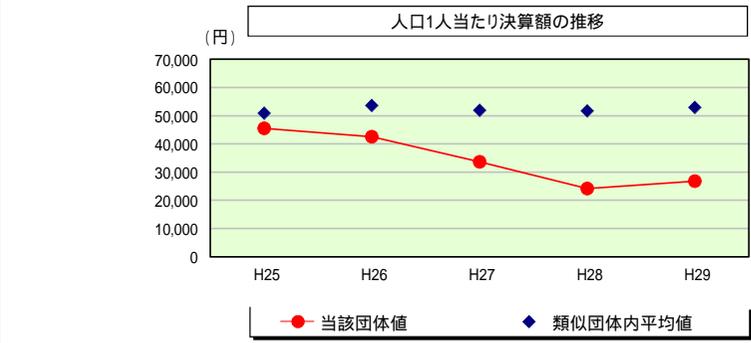


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	22,371,237	31,149	32,104	3.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	2,346	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	2,460,000	3,425	20,571	83.4
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	4,450,647	6,197	11,957	48.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	209	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	976,622	1,360	1,143	19.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
特定財源の額	8,519,827	11,863	17,221	31.1
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	17,540,407	24,423	34,244	28.7
合計	4,198,272	5,846	16,865	65.3

平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H25	32,424,115	45,453	24.0	50,848	7.9	31.9
うち単独分	15,839,883	22,205	11.9	22,583	2.1	9.8
H26	30,415,955	42,531	6.4	53,572	5.4	11.8
うち単独分	16,360,954	22,878	3.0	25,259	11.8	8.8
H27	24,087,552	33,612	31.0	51,898	3.1	17.9
うち単独分	12,363,793	17,252	24.6	25,986	2.9	27.5
H28	17,291,812	24,118	28.2	51,684	0.4	27.8
うち単独分	9,372,112	13,072	24.2	26,671	2.6	26.8
H29	19,268,274	26,829	11.2	52,897	2.3	8.9
うち単独分	10,690,321	14,885	13.9	27,013	1.3	12.6
過去5年間平均	24,697,542	34,509	13.7	52,180	2.4	16.1
うち単独分	12,925,413	18,058	8.8	25,502	3.3	12.1

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

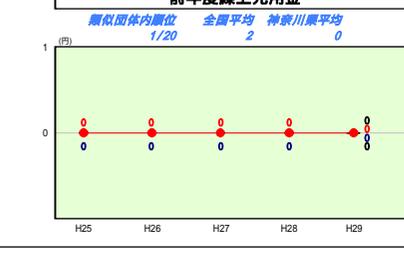
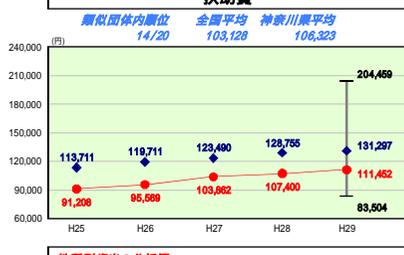
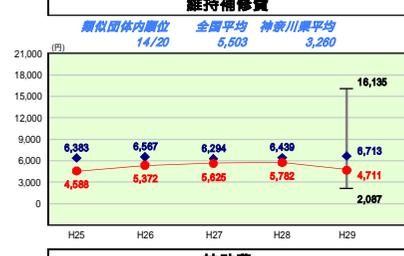
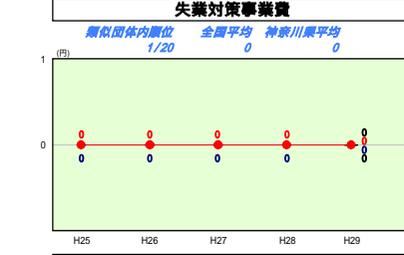
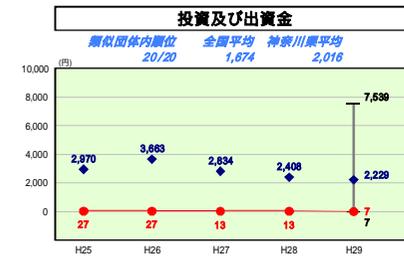
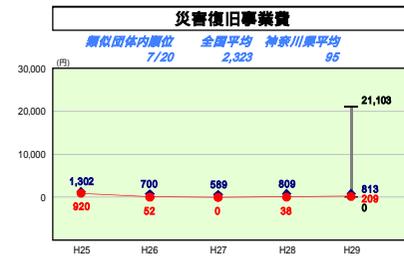
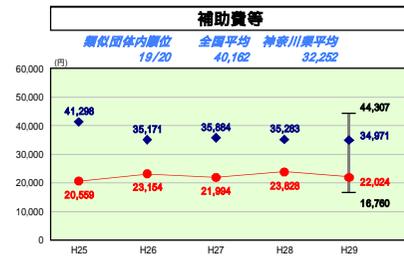
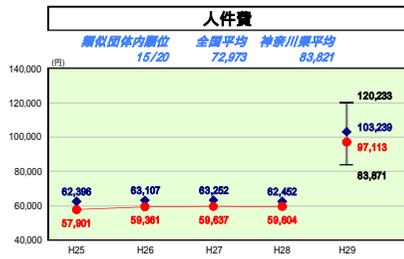
平成29年度

神奈川県相模原市

人口	719,192人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	704,643人(H30.1.1現在)	通算実質赤字比率	- %
面積	328.91 km ²	実質公債費比率	2.9 %
歳入総額	292,558,612千円	将来負担比率	39.0 %
歳出総額	283,547,810千円	市町村間差	H25 政令市 H26 政令市 H27 政令市
実質収支	7,939,199千円	(年度毎)	H28 政令市 H29 政令市
標準財政規模	169,379,452千円		
地方債現在高	284,169,044千円		

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ⊥ 類似団体内の最大値及び最小値

市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析
歳出決算総額は、住民一人当たり394,808円となっている。主な構成項目である、人件費は住民一人当たり97,113円であり、総額については県費負担教職員の給与負担等の権限移譲等により、前年度決算額と比べると63.2%増となっている。平成29年度は他の類似団体と同様に、権限移譲の影響により決算額は増加したが、いずれの年度も類似団体内平均を下回る。扶助費は住民一人当たり111,452円であり、総額については保育所等への施設型給付費の増加や障害児者介護給付費等の増加により、前年度決算額と比べると3.9%増となっている。平成25年度以降、類似団体内平均値を下回るが、住民一人当たりのコストは上昇を続けている。物件費は住民一人当たり48,677円であり、総額については、基幹システム最適化事業の増加等により、前年度決算額と比べると1.6%増となっている。普通建設事業費は、住民一人当たり26,829円であり、これは類似団体内で最も低い数値である。平成25年度から28年度まで、住民一人当たりのコストは減少が続くが、平成29年度には、土地区画整理事業、空調設備整備事業、麻溝小学校校舎等改築事業の増加等により上昇したが、依然として類似団体内では低い水準である。公債費は、平成25年度以降、類似団体内平均値を下回り、平成29年度においても、28年度と同様、最も低い水準である。これは、第2次さがみはら都市経営指針(実行計画)に基づく市債発行抑制の取組や、普通建設事業費が低い水準で推移してきたことにより市債発行額が抑えられていることなどが要因である。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

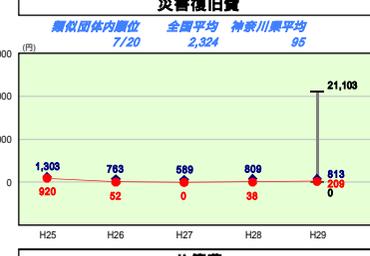
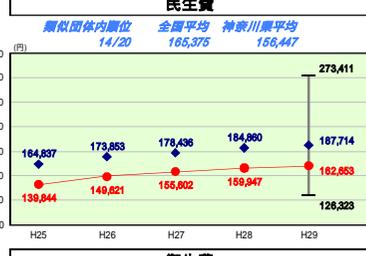
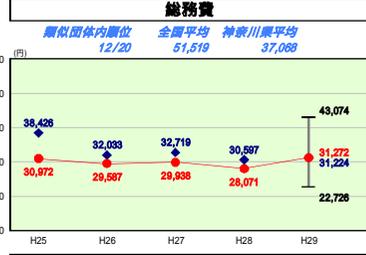
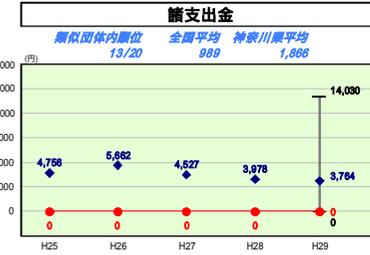
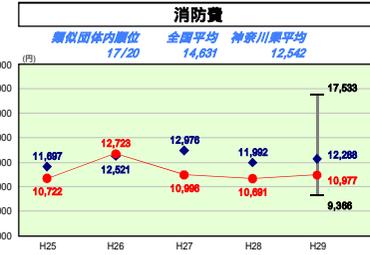
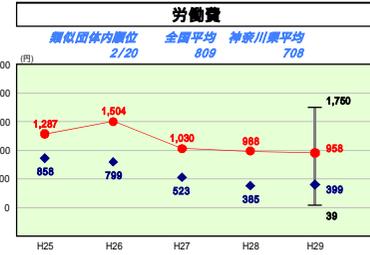
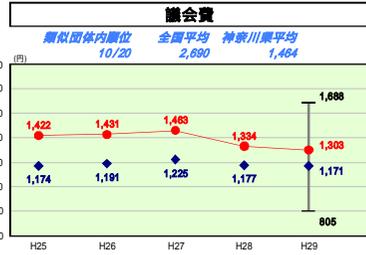
平成29年度

神奈川県相模原市

人口	719,192人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	704,643人(H30.1.1現在)	通算実質赤字比率	- %
面積	328.91 km ²	実質公債費比率	2.9 %
歳入総額	292,558,612千円	将来負担比率	39.0 %
歳出総額	283,547,810千円	市町村間差	H25 政令市 H26 政令市 H27 政令市
歳入取支	7,839,199千円	(年度毎)	H28 政令市 H29 政令市
標準財政規模	168,378,452千円		
地方債現在高	284,169,044千円		



市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



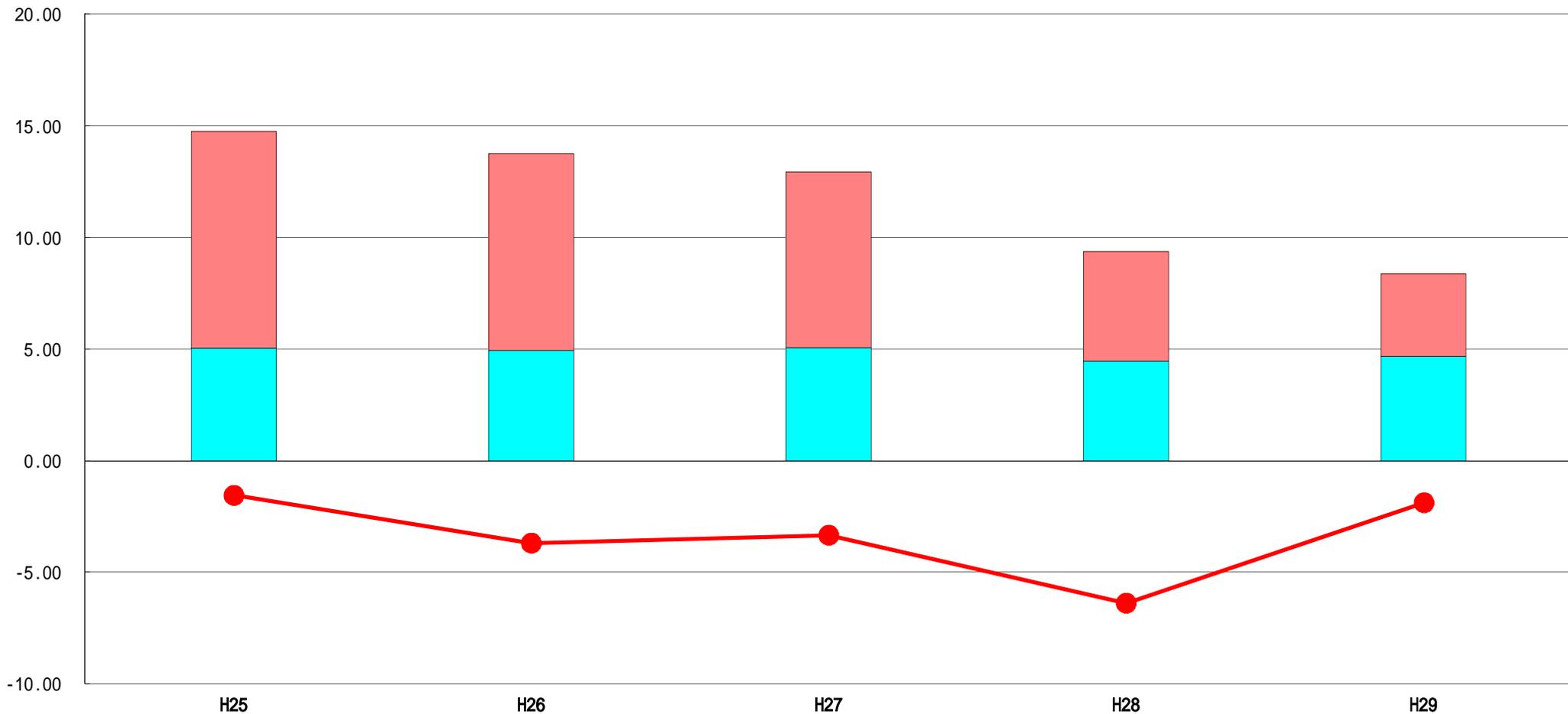
目的別歳出の分析
 主な項目について、民生費は住民一人当たり162,653円で、類似団体内平均値を下回るが、平成25年度以降、一人当たりコストの上昇が続いている。総額では、保育所等への施設型給付費や障害児者介護給付費等の増加等により、前年度と比べると1.9%増となっている。土木費は住民一人当たり36,145円で、類似団体内平均を上回り、平成29年度においても、28年度と同様、最も低い水準である(20団体中20位)。総額では、前年度と比べると0.1%減となっている。平成25年度以降、国直轄事業負担金の減や、津久井広域道路インターチェンジ接続事業、市営南台団地建設事業などの大規模な事業が完了したため、土木費は減少が続いている。教育費は住民一人当たり66,388円で、類似団体内平均を上回り、前年度と同様、最も低い水準である(20団体中20位)。これは、指定都市で本市のみ市立高等学校を設置していないことが要因の一つであると考えられる。総額では、県費負担教職員給与負担等の権限移譲による教職員給与費、空調設備整備事業、麻溝小学校校舎等改築事業等により、前年度と比べると134.4%増となっている。公債費は住民一人当たり35,446円で、類似団体内平均を下回り、平成29年度についても、前年度と同様、最も低い水準である(20団体中20位)。これは、第2次さがみはら都市経営指針・実行計画に基づき市債発行抑制の取組や、土木費が低水準で推移してきたことなどにより市債発行が抑えられていることなどが要因である。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

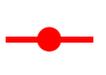
平成29年度

神奈川県相模原市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
 財政調整基金残高		9.70	8.82	7.86	4.90	3.70
 実質収支額		5.03	4.93	5.07	4.47	4.66
 実質単年度収支		1.54	3.69	3.34	6.38	1.89

分析欄

財政調整基金残高については、過去5年間（平成25年度～29年度）においては、平成25年度の132.6億円をピークに減少が続いている。毎年度、決算剰余金の一部を積み立てているが、平成26年度以降、積立額が40億円程度と一定規模で推移する中、福祉や子育て支援の充実に伴う扶助費の増加などの歳出増に対応するため、取崩額が積立額を上回る状況にある。特に平成28年度においては取崩額が82.0億円となり、標準財政規模比は前年度と比べると2.96ポイント低下の4.90%となった。平成29年度においても、前年度と比べると1.2ポイント低下の3.70%となった。

実質収支額については、形式収支が前年度に比べると増加（対前年度比24.9%増）となったが、翌年度に繰り越すべき財源がそれを上回る増加（同32.7%増）となったことなどから23.8%増加となり、標準財政規模比は前年度と比べると0.19ポイント上昇の4.66%となった。

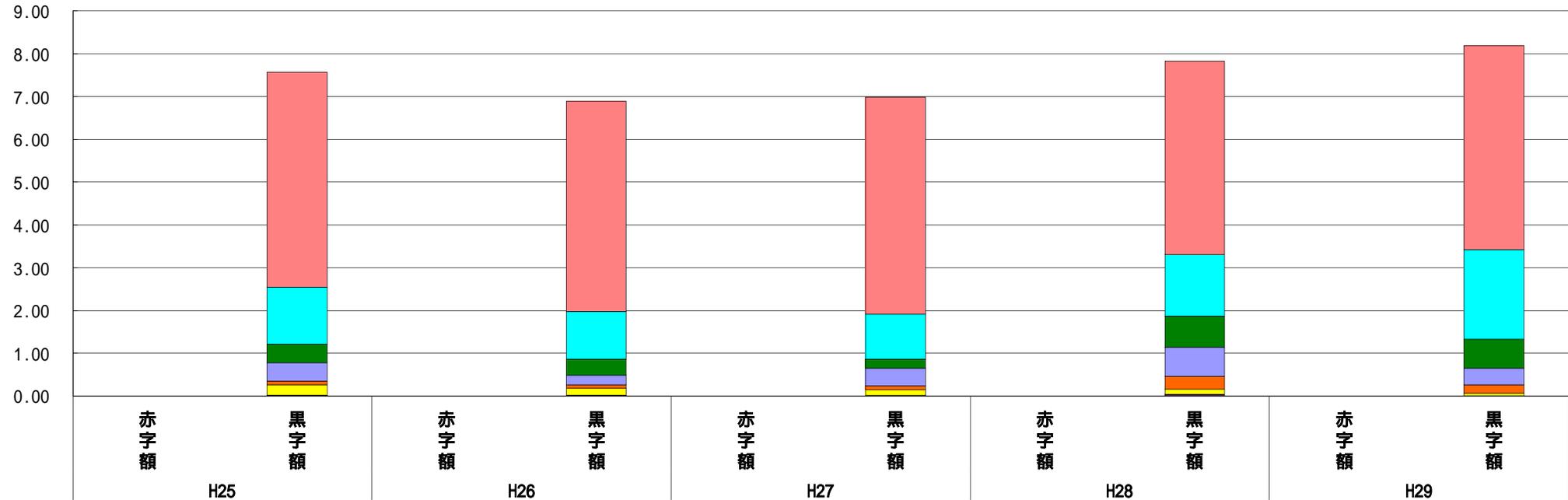
実質単年度収支については、31.9億円の赤字となったが、財政調整基金の取崩額が減少したことなどにより、標準財政規模比は前年度と比べると4.49ポイント上昇の1.89%となった。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成29年度

神奈川県相模原市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

会計	年度	H25	H26	H27	H28	H29
一般会計		5.02	4.92	5.06	4.51	4.76
国民健康保険事業特別会計(事業勘定)		1.33	1.11	1.06	1.44	2.10
下水道事業会計		0.44	0.37	0.21	0.72	0.68
介護保険事業特別会計		0.43	0.22	0.41	0.68	0.38
後期高齢者医療事業特別会計		0.08	0.09	0.09	0.31	0.20
自動車駐車場事業特別会計		0.25	0.16	0.13	0.12	0.06
簡易水道事業特別会計		0.02	0.02	0.02	0.03	0.01
国民健康保険事業特別会計(直営診療勘定)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計(赤字)		-	-	-	-	-
その他会計(黒字)		0.00	0.00	0.00	0.01	0.00

分析欄

対象となる全ての会計において、赤字額及び資金不足額は生じていないことから、連結実質赤字比率は算定されていない。

対象の会計中、標準財政規模に占める割合の低下が大きなものは、介護保険事業特別会計(対前年度比0.3ポイント減少)であり、これは要介護認定者数の増加による保険給付費の増などの要因によるものである。

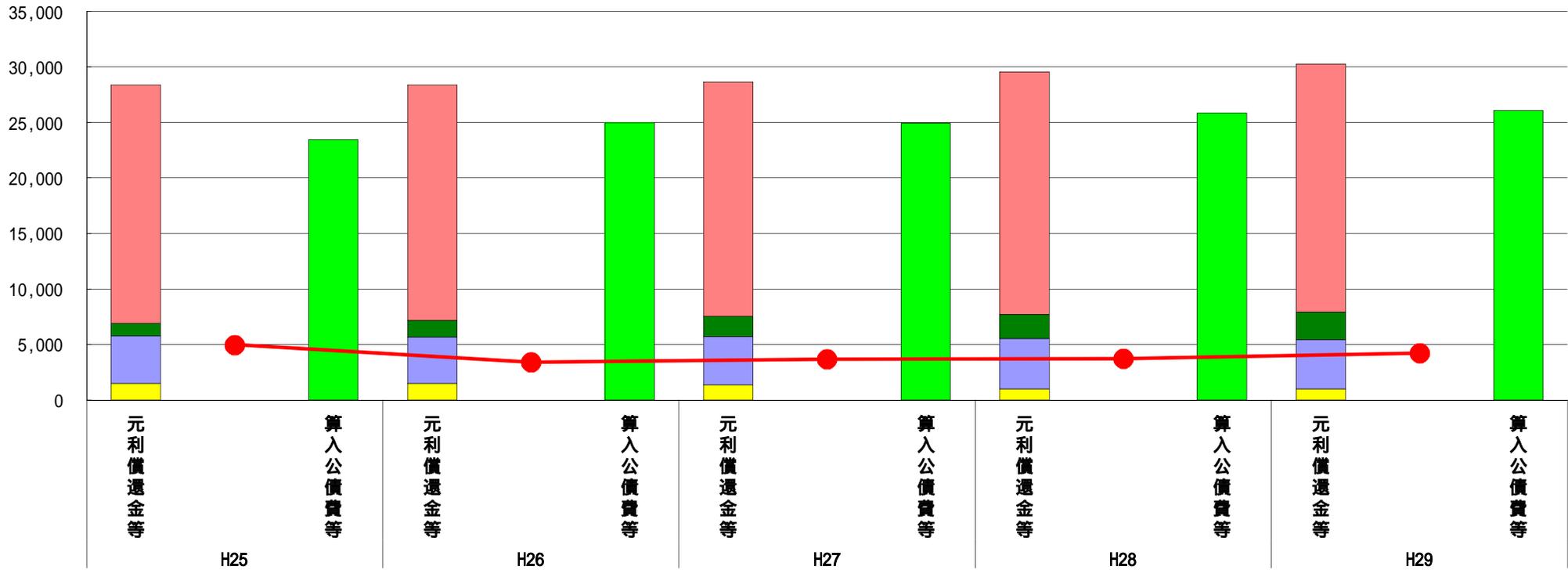
一方、標準財政規模に占める割合の上昇が大きなものは国民健康事業特別会計(事業勘定)(対前年度比0.66ポイント上昇)であり、これは、被保険者数の減少による保険給付費の減などの要因によるものである。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

神奈川県相模原市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等(A)	元利償還金		21,465	21,210	21,100	21,827	22,371
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		1,167	1,500	1,833	2,160	2,460
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		4,260	4,178	4,329	4,571	4,451
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		1,485	1,472	1,366	979	977
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		23,409	24,960	24,935	25,834	26,060
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		4,968	3,400	3,693	3,703	4,199

分析欄

元利償還金等については、臨時財政対策債などの発行に伴う元利償還金の増や、また、全国型市場公募債の発行による満期一括償還地方債に係る年度割相当額の増加により、前年度と比べると増加となった。
また、算入公債費等について、基準財政需要額に算入される元利償還金が増加した。

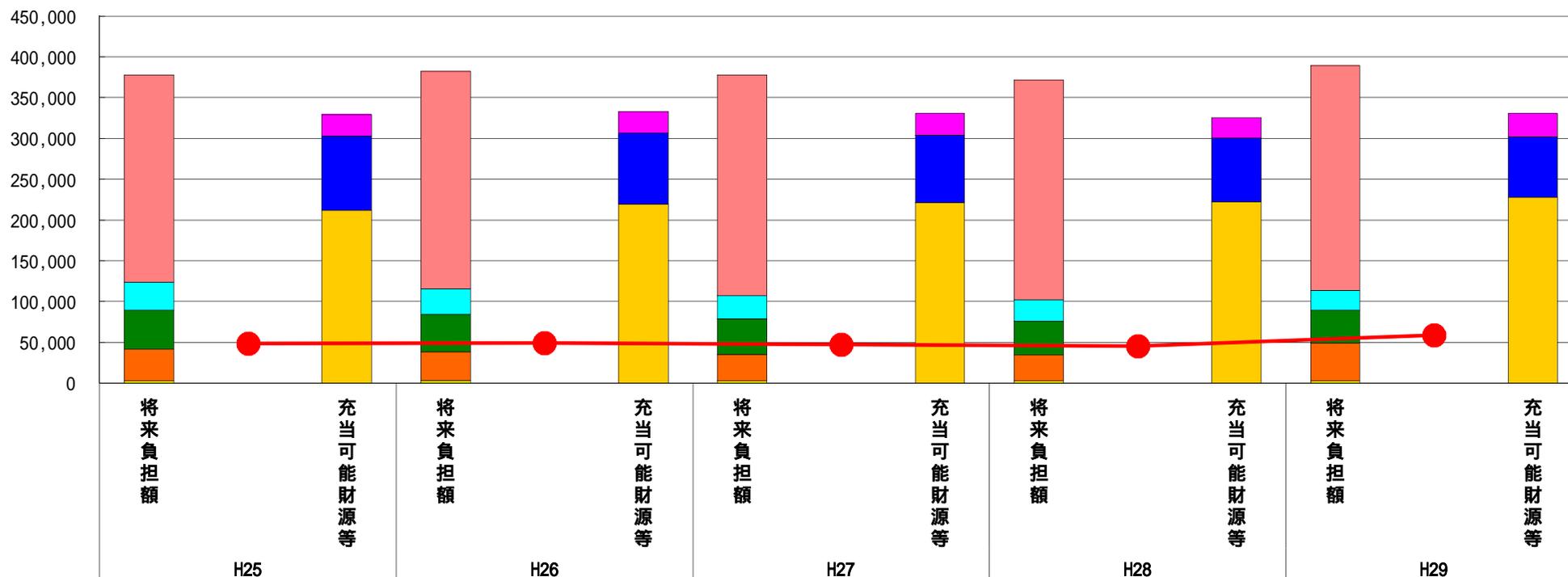
平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

神奈川県相模原市

（百万円）



（百万円）

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		253,620	266,630	270,808	269,193	275,797
	債務負担行為に基づく支出予定額		34,541	31,542	28,798	26,353	23,816
	公営企業債等繰入見込額		48,059	45,796	43,155	41,289	40,798
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		38,453	35,157	32,428	31,721	46,361
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,773	3,027	2,603	2,612	2,462
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		25,847	26,076	26,426	25,043	28,669
	充当可能特定歳入		91,428	87,667	82,545	78,352	73,694
	基準財政需要額算入見込額		211,738	219,547	221,372	222,324	227,998
(A) - (B)	将来負担比率の分子		48,434	48,863	47,450	45,450	58,873

分析欄

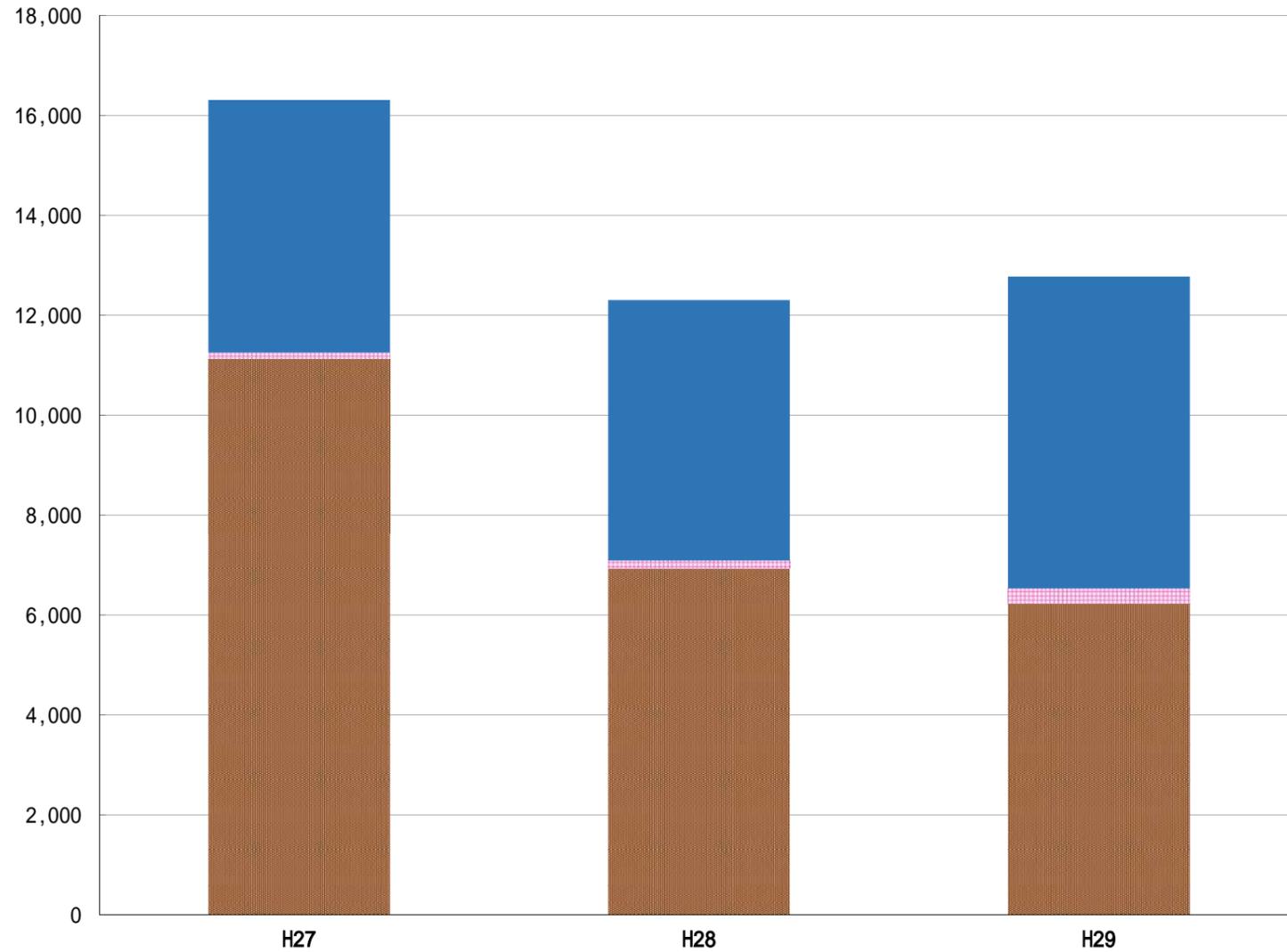
将来負担額については、学校施設の空調設備整備事業に係る市債発行に伴う一般会計等に係る地方債の現在高の増や、県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に伴い教職員退職手当等の負担見込額が増となったことなどにより、前年度と比べると増加となった。

また、充当可能財源等については、元利償還金に対する地方交付税措置を考慮した市債の発行に努めていることなどから、基準財政需要額算入見込額が増加した。

平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		11,125	6,933	6,238
減債基金		123	156	293
その他特定目的基金		5,058	5,214	6,241
都市交通施設整備基金		1,958	1,916	1,966
社会福祉基金		1,027	1,067	952
みどりのまちづくり基金		753	754	720
相模川ダム周辺地域振興基金		509	506	504
産業集積促進基金		182	285	480
基金残高合計		16,307	12,303	12,772

平成29年度

神奈川県相模原市

基金全体

（増減理由）

平成29年度の基金残高については、その他特定目的基金において、本市の喫緊の課題である子どもの貧困対策等に対応するため、新たに2基金を設置したことなどから、前年度と比べると約5億円増加となっている。

また、平成27年度から29年度にかけて、基金全体で約35億円減少している要因としては、その間において年度間の財源調整等により財政調整基金残高が約42億円減少したことなどがあげられる。

（今後の方針）

基金については、それぞれの設置目的に従い積立て・取崩し等を行っているが、現在、それぞれの積立ての考え方などについても整理・研究を進めている。

また、老朽化する公共施設の長寿命化事業等を着実に推進する必要があることから、その財源を確保するため、「公共施設保全等基金」や「学校施設整備基金」の残高が増加する見込みである。

現在、「公共施設の保全・利活用基本指針」に基づき、施設等の長寿命化計画の策定を進めているところであるが、積立ての考え方などについても整理・研究を進めているところである。

財政調整基金

（増減理由）

平成28年度においては、前年度決算剰余金等を40億円積み立てたのに対し、扶助費の増加などの歳出増に対応するため82億円の取崩しを行ったことから、年度末残高は前年度末と比べると約42億円の減少となった。

また、29年度においては、前年度決算剰余金等を40億円積み立てたのに対し、47億円の取崩しを行ったことから、年度末残高は前年度末と比べると約7億円の減少の約62億円となった。

（今後の方針）

平成30年度においても、前年度決算剰余金の1/2以上を積み立てることにより、年度末残高は前年度末とほぼ同程度となると見込んでいる。

財政調整基金については、中長期的に安定した財政運営を行う観点から、一定程度の残高は確保していく必要があるものと考えているが、現時点で具体的な積立目標額等はないことから、積立ての考え方などについて整理・研究を進めている。

減債基金

（増減理由）

市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる財政の健全な運営に資するため、基金運用益等の積立てにより、前年度と比べると1.4億円増加となっている。

（今後の方針）

運用益等による積立てにより、平成30年度末残高も増加するものと見込んでいる。

なお、この残高には含まれていない満期一括償還に係る積立ては、全国型市場公募債（平成22年度から発行）分については1/30、住民参加型市場公募債（平成27年度まで発行）分については1/10ずつ発行の翌年度より積立てを行っており、満期一括償還に備えた減債基金の積立不足は生じていない。

その他特定目的基金

（基金の用途）

基金残高の多い主な基金の用途は、次のとおりである。

都市交通施設整備基金：都市交通施設を整備する事業の財源とするために設置された基金

社会福祉基金：社会福祉の増進を図る事業の財源とするために設置された基金

みどりのまちづくり基金：緑化の推進を図る事業の財源とするために設置された基金

（増減理由）

増減額が大きかった主な基金の増減額と理由は、次のとおりである。

市街地整備基金（平成29年度末残高：465百万円 対平成28年度末残高増減額：+442百万円）

債務負担行為で行っている土地区画整理事業の進捗に応じて、平成29年度基金取崩額を減額したため。

【子ども・若者未来基金】（平成29年度末残高：229百万円 対平成28年度末残高増減額：皆増）

子供及び若者の育成支援並びに子育て支援に関する事業の財源とするため、寄附金等を原資として平成29年12月に設置したため。

【学校施設整備基金】（平成29年度末残高：211百万円 対平成28年度末残高増減額：皆増）

市が設置する学校施設を整備する事業の財源とするため、平成29年12月に設置したため。

（今後の方針）

老朽化する公共施設の長寿命化事業等を着実に推進する必要があることから、その財源を確保するため、「公共施設保全等基金」や「学校施設整備基金」の残高が増加する見込みである。

現在、「公共施設の保全・利活用基本指針」に基づき、施設等の長寿命化計画の策定を進めているところであるが、積立ての考え方などについても整理・研究を進めているところである。